＜やさしい選挙の話＞
接近かドル貿易か
炭鉱の兄から田舎の妹へ

啓子ちゃん、しばらく。

うちの連中もみんな元気だと思います。この間送つてもらつた軍餅とつてもおいしかつた。おふくろに言つて下さい。

ゴールデン・ウイークに帰ろうと思つたけど、兄さん選挙でとつても忙しいんだ。労働組合の選挙対策委員に選ばれたんでね。組合じゃあこんどの選挙は〃ミサイル選挙〃だつて言つてるんだよ。今度の選挙で革新政党が議席の三分の一以上とれなかつたら日本がアメリカの原水爆基地にされてしまうというわけだ。

啓子ちゃん気がついたかどうか知らないがこの間の新聞にこういう記事が出ていた。アーウインという米国防次官補代理が全米新聞編集者協会の総会で演説して「米軍幹部の多くは米国が日本の自衛隊を増強させ、核兵器基地の設置に対する（アイマイな）態度を変更させるよう圧力をかけるべきだと考えている。また国務省当局者は核兵器武装に対する日本の態度が非現実的であるとして、この点を遺憾としている……そしてこれら当局者は自民党がこんどの総選挙で三分の二を確保し、防衛問題その他でこれまでより大胆な政策を打ち出すことを望んでいる」というのだ。

ところがだ、兄さんが一ばん強調したいのは世界の情勢はこういう動きと全く逆行しているつていうことなんだ。うちの職場でもいま会社が〃不景気だから〃つていうことで賃上げを押さえようとしているが、ソ連は三月の三十一日にアメリカやイギリスがなんと言おうと「先ず自分のところだけでも〃一方的〃に原水爆実験を中止する」と宣言した。兄さんはこういう一方的ならいくら一方的でもいいと思うんだけど……。それでアメリカもイギリスも困つてしまい近く三国巨頭会談をひらいて平和の話合いをしようというところまで来ている。それにソ連は人工衛星も打上げたし、ICBM（大陸間弾道弾）も持つてるしね。もう〃力の政策〃じゃあダメだつていうわけだ。

それなのに岸さんはそういう大勢に逆行することばかりやつてきたいまはやりの言葉じゃないけどよろめくのは当り前だよ。中国貿易の問題だつてそうだろう。やれ国旗はあげちやあいけないの、指紋をとるのと言つてるからとうとうダメになつたんだよ。兄さんは日中貿易さえできたら今の不景気なんていつぺんにふつ飛んじやうと思うんだがな。そうしといて〃不景気だから〃つて労働者の首を切つたり賃下げをしたりしている。兄さんだつていつクビになるかわからないよ。農産物だつてそうだどそつとアメリカから余つた小麦を輸入したりしている。だから百姓はいつまでたつたつて貧乏してなきやならないんだ。

おやじによく言つといてくれよ。また岸田さん（あいつはどうせどつかから選挙資金をもらつてるんだ）なんかに頼まれてバカな投票はするなつて。

えらくむずかしい話になつてしまうたけどこんどの選挙はほんとに大事だからね。

こんど帰る時には必ずご注文の赤い雨靴を買つていくよ。

ではまた、さようなら。

兄より

啓子ちゃんへ

絵起
（12）

よごれて遊びたい
大人の気持を強制するな

去る五月五日の西日本新聞の「親と子」欄に、入学して元気だつた正雄さんが或る日しよんぼりしているので、先生がわけを聞くと「いい洋服だからよごしてはいけない」といわれたという。母親に連絡すると、翌日は洗いたての丈夫そうな木綿の洋服を着てニコニコして登校し、ランドセルを覗くより早く運動場にかけていつた、という記事がのつていた。幼児期の七・八才（小学校二・三年生くらい）までは、よごれて遊びたいという欲求を誰でももつているのが健康な自然の状態であつて、青年期になつてもこの欲求を持続する者は、不健全な心理状態であるといわれている。そのためにこの時期の幼児には粘土いじりだとか砂場遊びだとか、指絵といつて水彩絵の具に糊を混ぜて指でぬりたくりまわして遊ばせる、といつたようなことが行われている。

構成力がなくなる

絵を描かしても自由にノビノビと描かせるほど大きく大胆にぬたくるのであつて、きれい好きのお母さんや先生などは、とんでもないことをするといつて、きれいにコマゴマと塗らせようとするものであるが、小さい子供に大人の気持を強制していると「絵はむづかしくて描けない」とか「好かん」というようになつたりするのが普通である。

自由さとか、ノビノビした自由さとかが縮んでしまつて、創意工夫の能力が枯れてしまうのである社会人になつてからでも一々習つたことしかできない習慣がついてしまい、自分で工夫するような構成力の無い人になりやすい。

絵を習いにくる子供の中には、きれいな服を着てくる者があるが絵の具がついたりするので、ノビノビとぐんぐん描こうとしていると、服のよごれるのが気になつて描けなくなることがある。

遊びの中に能力が

大人でもそうであつて、私の知つている人が絵を教えるのに助手を雇つたが彼女は若くてきれいな服を着て来るので一向仕事ができないのであつた。子供のときは特に遊びの中にいろいろな能力が伸びるのであるから、よごれてもよいような丈夫な服を一つと、よごれて指先を使うような遊びごとに必要な道具――たとえば粘土とか土を掘るような道具とか、物を切つたり、けずつたりするような道具などを与えてやるがよい。そして、子供が作つたり描いたり遊んだりしているのを、大人のレベルで批判したり、評価したり、引つぱり上げようとすると、ちようどあのたとえ話にあるように稲の穂が早く伸びるようにと引つぱつていたら枯れてしまつたというように、子供の伸びる能力が却つて枯れてしまうようになることが多いものである。

（家永勝之亮＝筆者は教育研究所嘱託・土曜会）

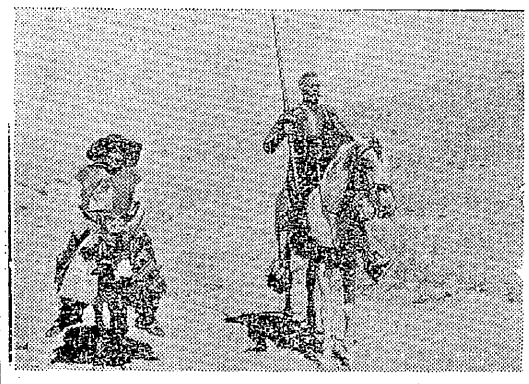
画映
不朽の名作の映画化
ドン・キホーテ

【かいせつ】シエイクスピアの「オセロ」（モスフイルム）一九五六年作品）についで、ソビエト映画が、再び世界文学の古典と四つに取組んだ、本格的な文芸映画である。

原作は、十七世紀のスペイン作家ミゲール・デ・セルバンテス（一五四七＝一六一六）の「ドン・キホーテ」（正編・続編）である。この主人公は、狂気で、時代にもとり残されながら、人間や社会の退廃に反旗をひるがえして行動した。さげすまれ、からかわれて、失敗の連続ながら、世のため人のため一身を投げ出した敬虔な精神が、ひろく各層の読者をとらえ、この書を不朽にし、近代長編小説の始祖といわれる傑作となつた。

【ストーリ】ある夏の晴れわたつた朝方。武具に身をかためた、ひよろ高いやせ男が、やせ馬にまたがり、タイコ腹の男が、小さなロバに乗つてスペインのある村をぬけだした。

着れと自由のため、恋と献身のために、試合にのぞみ合戦の野に立つ騎士道花やかなりし時代は遥い昔語りだ。しかし、騎士小説にかぶれたロマンチックなわが貧乏貴族は、騎士きどりで、名もドン・キホーテと改め、近所の百姓娘を身命を捧ぐべき思い姫に見立てドルシネーアと呼び、弱きを助けて強きをくじく諸国遍歴の壮途についた。人の好い小百姓のサンチヨ・パンサは、キホーテの熱弁にほだされ、また島の領主に取立てやると聞かされて心が動いた。彼は家業も家族もおき去りにしてあてどない遍歴とやらに同行するハメになつたのである。



さても勇敢な騎士とその従士は、多くの冒険に立ち向つた。ドン・キホーテの仮想の敵とは巨人フレストンである。――いや、凶悪な敵フレストンは実在する。敵は、舟形にも正々堂々の一騎打ちを避け、酒袋や馬車や風車などに変装していると信じて疑わない。そこでキホーテは堅く信じて疑わない。そこでキホーテは敵の悪だくみを見破つて猛然とつつこむ。――サンチヨはよほどまともだからその度に主人をせきとめるが…。

【二十一日より大牟田名画座で上映】

囲碁教室
秀策流の布石 9
（55）

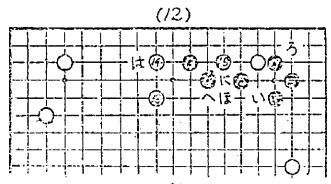
12図　黒13のハサミに対する白の応手は、前図のコスミ（15の点）の他に、いのトビツケ、ろの走り、16の一間ビラキがありますが、この内どこに打つても、黒は構わずはにヒラいて治まるのが分り易いのです。

そこで白としては、黒が上辺に二間ビラキすると、左上隅の締りの威力が消えてしまうので12図のように14と逆襲することもあります。これは黒13が三間バサミで右上隅の白一子に響きがうすいということが理由の一つです。黒15は白の手抜きをとがめて、ここを封鎖するのは当然です。白16は肝要な一手。黒17と圧迫したとき白18ではろに走つて活きる定石に従うのが部分的にはよいのですが、図のように18とトンで左上を拡げ黒18のとき、更に左辺の星脇に展開してこの方面に大模様を築くのが、14の意図する一貫した作戦です。黒19は今度白ろと走られて活きられてはたまらない処です。

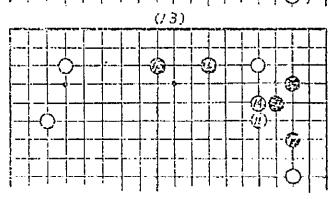
なお、ここは白から時機をみてにと出て、黒ほ、白へと出切る味があります。

13図　前図が黒に悪いわけではないのですが、白14のツメを避ける意味では、本図のようにきびしく二間にハサムのが一貫です。白14とトビつけると、かまわず15とヒラいて、白16のとき黒17とケイマして黒十分です。

（12）



（13）



橋本　初識
境　敬一

長屋大学
（ぜんせいかめあ）

あたった！
当った！とはなんだ、かいいあり
？？
？？
？？